

2. 分野別状況（1）国際戦略総合特区

	総合評価 (ⅠとⅡとⅢを1:1:2の割合で計算)	Ⅰ 目標に向けた取組の進捗	Ⅱ 支援措置の活用と地域独自の取組の状況	Ⅲ 取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
アジアヘッドクォーター特区 (東京都)	4.8	進捗度 ・外国企業のアジア統括拠点及び研究開発拠点の誘致数 103% ・外国企業と都内企業との引き合わせ件数 133% ・金融系外国企業の誘致数 110% ・外国企業からの相談件数 231%	規制の特例措置 ・ビジネスジェットの使用 手続簡略化 等 地域独自の取組 ・金融系外国企業拠点設立補助金 ・ビジネスコンシェルジュ事業 等	5	・Access to Tokyo、ビジネスコンシェルジュ東京、様々な誘致イベントなど地域独自のきめ細やかな取組を精力的に実施されており、その効果が目標を大きく上回る外国企業からの相談件数などに特徴的に示されている。 ・外国企業と都内企業との引き合わせ件数の伸びも堅調に推移している。 ・今後も、誘致やマッチングのプラットフォームの水準を堅持され、GXなど重要な分野での質の高い企業誘致につなげていってほしい。 ・高い実績・成果が得られていると思う。 ・東京という地の利もかなりある上、羽田空港の機能強化の恩恵も大きい。 ・今後は規制緩和提案を一層進めてほしい。

2. 分野別状況（1）国際戦略総合特区

	総合評価 (ⅠとⅡとⅢを1:1:2の割合で計算)	Ⅰ 目標に向けた取組の進捗	Ⅱ 支援措置の活用と地域独自の取組の状況	Ⅲ 取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略総合特区 (神奈川県、横浜市、川崎市)	4.5	進捗度 ・特区事業の実施によるライフイノベーション分野における経済効果 128% ・個別化・予防医療及び未病改善などを実現するためのデータサイエンスの活用等に取り組む事業数 100% ・医薬品・医療機器・再生医療等製品等の早期実用化に向けた取組件数 107% 等	税制支援等 ・再生医療等製品の研究開発事業 ・ニーズ主導のマッチングによるベンチャー企業等の創出、産業化に関する事業 等 地域独自の取組 ・企業立地促進補助金 等	4.7	・投資や企業、機関の進出を基礎に、更にデータサイエンス活用や共同治験などの活動が指標化された取組が効果的に作用し、健康増進の社会的課題解決に向けた国際競争力の高い産業集積が着実に進みつつあることが示されている。これらを先導するグローバル企業の取組が、今後、更に地域の関連産業や中小企業への波及効果、地域の活性化へと着実につながっていくことを期待したい。 ・地域の特色を活かし、着実に成果が得られつつあるように思うが、医療及びヘルスケア領域においては、最終的な実装に向けてのハードルがあると思われ、入念な戦略が必要と思われる。 ・税制支援や金融支援の活用も積極的に行っていると評価できる。

2. 分野別状況（1）国際戦略総合特区

	総合評価 (ⅠとⅡとⅢを1:1:2の割合で計算)	Ⅰ 目標に向けた取組の進捗	Ⅱ 支援措置の活用と地域独自の取組の状況	Ⅲ 取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
関西イノベーション国際戦略総合特区 (京都府、大阪府、兵庫県、京都市、大阪市、神戸市)	4.3	4.8 進捗度 ・研究段階(入口)における効果 132% ・承認審査段階(中間)における効果 102% ・製品化・実用化(出口)における効果 133% 等	4.2 規制の特例措置 ・スマートコミュニティオープンイノベーションセンター機能の整備 等 税制支援等 ・国際戦略総合特区設備等投資促進税制 等 地域独自の取組 ・次世代地域産業推進事業 等	4	・ライフサイエンス分野においては、特区支援制度を活用し、設備投資や研究開発、医療品・医療機器生産額等で目標を上回る着実な進捗が示されている。グリーン分野においては、蓄電池をめぐる国際的な環境変化やそれに対応する中長期的な蓄電池戦略を踏まえ、新型蓄電池の開発や人材育成についての、更なる取組や支援に期待したい。 ・各事業において、十分な実績が得られている一方で、本特区構想の目標である「イノベーションプラットフォーム」の構築について、具体的な成果を求められる局面が増えてくると予想され、ロードマップの明示が必要と思われる。

2. 分野別状況（1）国際戦略総合特区

	総合評価 (ⅠとⅡとⅢを1:1:2の割合で計算)	Ⅰ 目標に向けた取組の進捗	Ⅱ 支援措置の活用と地域独自の取組の状況	Ⅲ 取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
グリーンアジア国際戦略総合特区 (福岡県、北九州市、福岡市)	4.2	4 <u>進捗度</u> ・当地域が貢献する環境を軸とした産業の年間売上高 80% ・特区に係る支援措置を活用して設備投資を行った企業数 83%	4.3 <u>規制の特例措置</u> ・圧縮水素運送自動車複合容器・附属品に対する刻印方式の特例の創設等 ・<u>税制支援</u> ・環境配慮型自動車開発・生産拠点推進事業等 ・<u>地域独自の取組</u> ・グリーンアジア国際戦略総合特区中小企業設備投資促進補助金等	4.2	・半導体不足の一部解消に伴い、環境配慮型自動車を中心とする生産回復で売上高を着実に拡大している。国の新成長戦略に対応した目標を堅持する考え方は明確、有意義であり、引き続き、サプライチェーン全体の環境性や強靱性を高めつつ、着実な目標達成への取組に期待したい。 ・計画に従って、十分な実績が得られていると思う。 ・EVの販売伸び悩みなど現行での市場に影響は受けるものの、事業そのものは比較的順調と評価できる。

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要

令和5年度

2. 分野別状況（1）国際戦略総合特区

	総合評価 (ⅠとⅡとⅢを1:1:2の割合で計算)	Ⅰ 目標に向けた取組の進捗	Ⅱ 支援措置の活用と地域独自の取組の状況	Ⅲ 取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
アジアNo.1航空宇宙産業クラスター形成特区 (愛知県、岐阜県、三重県、長野県、静岡県、名古屋市 等)	4	4 <u>進捗度</u> ・中部地域における航空宇宙関連輸送額 60% ・中部地域における航空宇宙関連の工場等の増設件数 200% 等	3.8 <u>規制の特例等</u> ・工場等増設促進事業 等 <u>財政支援等</u> ・国際総合特区設備等投資促進税制 ・総合特区支援利子補給金 等 <u>地域独自の取組</u> ・21世紀高度先端産業立地補助金 等	4	・依然として航空宇宙産業が厳しい状況にある中、航空宇宙関連輸送額や航空宇宙関連の工場増設件数は向上しており、総合特区の支援施策などの取組による一定の成果が表れているものと評価される。 ・将来の航空需要を見据え、事業者の生産活動支援、人材育成、新規事業開拓などの取組を粘り強く続けてほしい。 ・アジア最大・最強を目標とするコンセプトは十分に理解されるものの、客観的評価軸の設定や巨大隣国との競合への対応が鍵になると思われる。

2. 分野別状況（1）国際戦略総合特区

	総合評価 (ⅠとⅡとⅢを1:1:2の割合で計算)	Ⅰ 目標に向けた取組の進捗	Ⅱ 支援措置の活用と地域独自の取組の状況	Ⅲ 取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
つくば国際戦略総合特区 (茨城県、つくば市、国立大学法人筑波大学)	3.9	4 進捗度 ・連携企業数 107% ・事業・産業創出 (起業、ライセンス アウト、製品化 等) 44% ・事業化に伴う株 式公開(IPO)件 数 100%	3.6 規制の特例措置 ・搭乗型移動 支援ロボットの 規制緩和 等 地域独自の取組 ・ロボットスーツ 治験事業 等	4	・「次世代がん治療(BNCT)」の取組における治験の開始や、藻類バイオマスエネルギーに関する新たなベンチャー企業の設立や機能性成分を活用した新製品への取組が進んでいることが評価される。 ・今後、プロジェクトの枠を越えたオープン・イノベーションの連携を通して、新たな事業・産業創出につながることを期待したい。 ・ごく一部の分野において、当初の目標値に届いていない分野も散見されるが、全般的には着実に進捗し、成果が得られているように思う。 ・「(一社)つくばグローバル・イノベーション推進機構(TGI)」の有効活用とその発展を期待する。 ・比較的順調に進んでいるものと評価できる。